

# 「手賀沼魚類・貝類・プランクトン調査」

手賀沼水生生物研究会

鈴木盛智



【2015年9月12日】主に生物調査(魚類の定量調査及び種類調査・貝類調査・プランクトン種類調査)を行った。

調査場所	1		4		5		6		7		8	9
時刻・水温			9:12	24℃	11:05	25℃	12:55	26℃	13:25	26℃	14:30	
モンドリ数	5	6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
モツゴ	186	251	40	20	151	144	180	84	140	133	37	150
スジエビ	51	40	66	17	20	8	37	29	7	27	13	19
タイリクバラタナゴ	55	7	26	1	11	2	54	11	41	33	4	
タモロコ	3	2	1			5	86	3			3	21
ヌマチチブ			2			1						
ツチフキ		1	1									
ヨシノボリ						1						
テナガエビ		4							1	1		
ワタカ											1	1
ゴシアキトンボヤゴ										2		
小計	295	305	136	38	182	161	357	127	189	196	58	191

※ ガサガサでは以下も確認された。**4地点** ギンブナ・ヨシノボリ・カムルチー・シナヌマエビ・ワタカ稚魚、**5地点** ドブガイ、**7地点** ヌマチチブ・ヨシノボリ・コウライギギ・テナガエビ・ドブガイ、特筆すべき点では、手賀沼でコウライギギを初確認、すでに定着していると思われる。

※ プランクトン調査では、藍藻類は少なく、緑藻類のクンショウモが多い。動物プランクトンではワムシ類が多く、マルミジンコやゾウミジンコ・カワヒバリガイの幼生等が確認された。

【2015年12月12日】利根川生き物調査(旧利根運河との合流点付近)

※主に魚類調査を行った。前日の雨のため調査を予定していた地点の水位が高く、貝の調査は行えなかった。

ワンド入口(道路側) **モンドリ** タイリクバラタナゴ、ゲンゴロウブナ、モツゴ

主に河口方面 **ガサガサ** ゲンゴロウブナ、モツゴ、スジエビ、シナヌマエビ、アメリカザリガニ、ヨコエビ

道路反対側 **モンドリ** ゲンゴロウブナ、ブルーギル、ギンブナ?(カラシウス)

利根川べり **ガサガサ** オイカワ稚魚

現 運河 **ガサガサ** メダカ、スジエビ、タイリクバラタナゴ、ヨシノボリ、ブルーギル、シナヌマエビ、ヨコエビ

**モンドリ** タイリクバラタナゴ、モツゴ、タモロコ、ツチフキ

【2016年3月12日】手賀沼生き物調査 主に貝類調査を行った。

※ 過去に貝類の生体が確認できた場所で極端に少なくなっている。特に手賀沼大橋上流(西側)では、貝殻のみで、生体は全く確認できなかった。

※ 岩井新田は過去貝類の生息適地であったが、上流にハス大繁茂帯が広がったため、貝殻が多く貝類の生息には適さない場所になりつつある。

※ 今回初調査の手賀沼の下流域である染入り落とし沖では、若いドブガイ生体を複数確認した。

※ 未調査部分の底質調査を少し行った結果、砂地の場所に変化が見られた。今後は底質について再調査の必要がある。